



子規が親しんだ
短歌形式の手紙

全国 コンテスト

はがき歌

第22回

正岡子規が日常の出来事を短歌形式ではがきなどに書き、友人に送ったのが始まりといわれている「はがき歌」。今年の特別部門は「幽霊さんへ」(〇〇の幽霊へ)でした。その結果、応募総数7425通が寄せられ、上位賞11点・「幽霊」賞31点・佳作100点の計142点が、3月20日に子規記念博物館で表彰されました。上位賞受賞作品と市内在住の人の佳作20作品・「幽霊」賞3作品を紹介します。(敬称略)

松山市長賞

帰省した孫へ

帰省して窓に指紋を
残す君ピカソのような
もみじの宇宙
北海道北斗市
青木 弘子

松山市教育長賞

男子へ

「女子になられてー」って
いつも言ってるけど
女子の世界は怖いんよ
済美平成中等教育学校
好永 純堇

受賞者の声



好永 純堇さん

この度ははがきをくださったことに、ありがとうございます。この歌を作る時に、同じクラスの男子の子が「女子になられてー」と、いつも言っていて、私は心の中でずっと、女子の世界は怖いんよと思っていました。この時の気持ちをそのまま歌にしようと思ひ、作りました。女子の世界は怖いけど、楽しいところもたくさんあるので、これからもがんばりたいです。ありがとうございます。

愛媛県知事賞

しきさんへ

しきさんといっしょに
のみたいへちま水
わたしもせきまで
夜くるしい
松山市立清水小学校
高山 結衣

受賞者の声



高山 結衣さん

私は夜中によくせきが出来ます。夏休みにお姉ちゃんと一緒に子規さんのことを調べました。その時、子規さんもよくせきが出ていて、へちま水を飲んでいたことを知り一緒に飲みたいたいと思ひました。この賞をいただきとてもうれしです。

日本郵便株式会社 四国支社長賞

九十六で亡くなった
祖母へ

捨てられず使ひも
せずにぞうきんを
眺めています
ふぞろいの縫い目
青森県八戸市
和井田 勢津

審査員特別賞

審査員(敬称略)

坪内 稔典(審査委員長)

(俳人・佛教大学名誉教授)

永田 紅(歌人)

吉田 類(酒場詩人)

尾形 牙子

(松山歌人協会会長)

竹田 美喜
子規記念博物館館長

亡くなった父へ

ここに
ただころがって
ここにある柿と
蜜柑とポンカン三つ
大阪府枚方市
川井 惠津子

夫へ

人ごみをかきわけ
おくれてくる人を
二階の喫茶で
見るのが好きでした
奈良県北葛城郡
田中 敏子

九十二歳の母へ

老いし母冬の
小部屋の景となり
針とるもよし
転た寝もよし
長野県諏訪郡
植松 昌弘

亡くなった
ひいおばあちゃんへ

「待っててね
元気になるけん」って
言ったからお手玉
今も机の中だよ
済美平成中等教育学校
山崎 優雅



佳作 市内在住(通学)の人

喧嘩した孫へ
ああええわ静かで
ええわゆっくりと
テレビ見えるし昼寝も
できる
徳島県阿南市
坂東 典子

「幽霊」大賞

こわくない
ゆうれいさんへ

ゆうれいは
ひいじいちゃん
めじるしは
ひろいせなかと
ポマードのにおい
千葉県山武郡
小室 妃那乃

種田山頭火の
幽霊さんへ

まだ旅を自由気ままに
してますね一草庵に
うたた寝のまま
兵庫県明石市
小田 虎賢

受賞者の声



山崎 優雅さん

私もにはとても仲良しなひいおばあちゃんがありました。いつも百人一首や、昔の遊びを教えてくださいました。「次はお手玉を覚えてあげるけんね」と言ったら、亡くなってしまう。約束が果たされることはなくなりました。ひいおばあちゃんのことをずっと忘れんけんねという思ひです。お手玉を今も持っています。そういう思ひをはがき歌にしました。

亡き母へ
下の名で呼ぶとにっこり
笑ったから今もその名で
合掌してる
荒木 惠子

子規さんと漱石さんへ
お二人が出会った落語
私も今最高の仲間と
演じています
石田 心美

正岡子規へ
ありがどう俳句の良さを
しりました今日から私は
正岡子規よ。
石田 茉莉菜

息子陽一へ
レコードを摩り切れるまで
聴いてたねあの
ポップ・ディランがノール賞
井上 弘

母へ
あれ、あれと名前が
出ないの分かるけど、全てを
あれとまとめないでよ
内山 愛梨

母へ
煮魚も柚子のお寿司も
母の味忘れていいよ
私がつくる
岡本 典子

入院している母へ
「宿題して」いつもは
いやな言葉でも今は
とっても聞きたいよ
佐伯 奏和

じいちゃんへ
すずしげに酒をのんでた
じいちゃんに、
置いておきます炭酸水を
坂本 歩美

息子へ
渡る前に橋をたたいて
こわすからいまだ
ひとり身渡ってみようよ
造田 フクエ

おじいちゃん・ばあばへ
いつもげんきじいじとばあば
いつかぼくのうんでんで
おんせんにつれてくね
高村 勇人

俳句の先生へ
先生は知っていますか
赤丸を見つけたときの
私の嬉しさ
滝下 真央

おとうとへ
にいやんになるのが
とってもうれしくてなまえも
ぼくがかんがえたんだよ
徳本 大悟

おばあちゃんへ
ばあちゃんの作るおにぎり
おいしいよかあさんよりも
しゃげがっぱい
中村 歌

おとうさんへ
あめのなか、がんばって
いるそのすがた、
なつやすみをあげたいよ
藤原 優里

友達へ
他の子と居る時よりも
暗いのは無理をして
いない証拠です
村上 杏

お母さんへ
母さんの頭にのつを
生やすのは子供の大事な
役割だと思う
山本 美桜

親せきみんなへ
久しぶり親せきみんなが
大集合やっぱりお盆は
こっぴどなくちゃ
脇田 ひかり

おとうさんへ
告知する約束破って
ごめんさい。弱っていく
うち言い出せなくて。
渡部 秀美

ひいおばあちゃんへ
ばあちゃんはだしまき
たまごのめいじんよまた
いくけんいばいつくってね
渡部 芽

おばあちゃんへ
じしんでねおうちこわれて
ないてるのぼくがいたら
わらうかな
高橋 功大朗

おかあさんへ
夏休みみんないっしょに
おばけの話しこんやママの
手ぶくのもの
清水 惟睦

幽霊さんへ
あなたには帰る体は
ないけれど誰かの心に
居場所があるよ
武島 理子

おふるのゆうれいへ
おふるでねシャンプーの時
うしろにねせたい
せたいいいないでね
中村 歌乃

子規記念博物館 931 5
566・934 3416